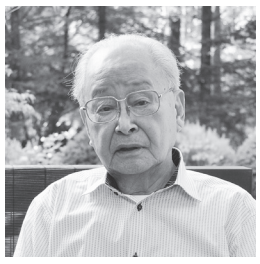
軽井沢ライフのための情報紙 ● Karuizawa News Paper　No.168

軽井沢新聞

6/12 June 2017

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27
身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語



北京大学日本研究センター名誉教授

佐藤 敬治 さん

中国との友好関係作りに尽力
「日中は助け合いで成り立っている」

10代の多感な時期を戦火の中で過ごした。学徒動員のため、中学2年から軍直轄の横浜造船所で、朝8時から夜8時まで働き詰め。「学業の時間を少しでも」という希望をみんなで決めて提出し、ある日の午後の仕事を放棄した。

すると、軍刀を手にした将校が学生らの集まっていた食堂へ。「首謀者は前へ出ろ」という呼びかけに、一歩を踏み出した。

「みんなで決めたから、全員前へ出ると思ったんですけどね。振り返ると、私以外誰も出ていない」

そのまま一人特高警察送りに。横浜憲兵隊の司令長官が遠戚だったこともあり、何とか憲兵隊に身柄を移してもらい釈放された。

1945年8月6日、原子爆弾が投下される40分前まで広島市にいた。前日に江田島の海軍兵学校で入学試験を受け、朝7時35分発の山陽本線で広島をあとに。大阪に着いて初めて、特殊爆弾が落ちたことを知った。

「江田島から私たちのあとの内火艇に乗った人は犠牲になった」

大学を卒業後、外務省終戦連絡事務局、神奈川県庁などを転々。1950年代、パリの国際機関にいたとき知り合った北京大学の教授に依頼され、中国の近代化、経済の仕組み作りに協力。その縁もあり、北京大学日本研究センターで教鞭をとるように。学生らに古典経済、中国近代史を教えた。

1980年代始め、大連で知り合った中国残留孤児の肉親探しに奔走。メディアでも大きく取り上げられ、残留孤児の存在が広く知られるきっかけを作った。

軽井沢に移住して26年目。2012年発足した軽井沢日中友好協会の会長を務める。当時は尖閣列島の問題もあり、日中関係が冷え込んでいた時期で、立ち上げに反対する声もあった。

「色々な考え方があるのは当然。ただ日中は唇歯輔車（しんしほしゃ）の関係で、お互い助け合うことによって成り立っている。隣国と仲良くすることに問題はない」

中国河北省承徳市と訪問団を派遣し合うなど、民間交流を続けている。数年のうちに、承徳市で軽井沢文化祭を開くのが夢だ。

今年、米寿を迎える。前述の戦時中の経験から、モットーは「目立たないこと。自然の流れに身を任せ、こせこせしないこと」だという。

高額の防護服購入は見送り

北朝鮮のミサイル想定、避難場所に碓氷トンネル

軽井沢町は、北朝鮮のミサイル発射などを想定し、有毒ガスに備えた防護服や防毒マスクなど30セット（費用160万円）の購入を検討していたが、町議会6月会議に補正予算案を提出しなかった。町民から「軽井沢町だけ特別に危ないのか」など否定的な意見があり、予算を査定していく過程で「総合的に判断した」という。

一方で、有毒ガスなどには対応していないが、サーズ、エボラ熱などの感染や、多量の降灰などから身を守る、低額の密閉服やマスクなどのセットを、今年度の予算で発注した。計30セット（約10万円）を購入し、安全な場所に避難誘導する際、職員が着用する。

また、弾道ミサイル発射など有事の避難場所として活用を検討している群馬県境碓氷峠の旧信越線トンネルについては5月10日、安中市と第一回目の会合（非公開）を開いた。トンネルは上り11カ所、下り18カ所あり、安中市が所有。安中市側からは「断る理由はない」との返事があり、前向きに検討する方向で協議を進めていく。

軽井沢側から最も近い位置にある旧信越線トンネル。

トンネルは町の東側に位置することから、町は他地区でも避難場所に相応しい頑丈な施設の洗い出しを行うという。藤巻進町長は議会6月会議のあいさつで「この先、何が待っているかは誰にもわからない。自然災害に備えるのと同様、武力攻撃やテロに対しても備えるのが行政の務め」と考えを示した。

これを聞いた町民からは「危機意識を持つという意味では良いと思うが、ミサイルに搭載されるものによっては、トンネル内に入ってくる場合もある」（60代女性）。「碓氷トンネルに辿り着くまでに間に合うのか」（50代男性）など疑問の声が聞かれた。

三面馬頭観音像、旧軽ロータリーへ

かつて二手橋にあった石像を野沢家が寄付

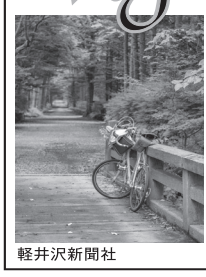
軽井沢町教育委員会は6月5日、野沢家から寄付を受けた三面馬頭観音像を、町有地の旧軽井沢ロータリーに移設した。石像は1853年、伊那市高遠の石工が制作。3つの顔と6本の腕を持ち、頭頂に馬の頭があるのが特徴。一塊の石から像の全体を掘り出す「丸彫り」の立像で、教育委員会によると「丸彫りの三面馬頭観音像は、全国的にも珍しい」という。

もともとは旅と馬の安全祈願のため、二手橋近くにあったもので、軽井沢で別荘地を開発した実業家の野沢源次郎が手厚く保護していた。移設する前は、貿易商社「野沢組」の保養所にあった。

軽井沢町文化審議委員会の大久保保さんらが、移設を打診し、野沢家側が町への寄付に応じた。

大久保さんは「軽井沢にある仏像の中では一番良い出来。馬が活躍した中山道の宿場町だったことを思い起こしてほしい」と話した。

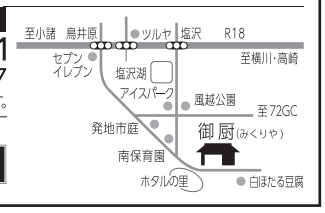
Karuizawa Style
軽井沢 Vignette（ヴィネット）
2017 上巻
800yen 発売中



特集 この場所だからできること・やりたいこと
軽井沢という選択
特別企画 建物ウォッチング名人が行く
渡辺篤史さんの別荘探訪
特集 憧れだけでは暮らせない。現実は…
軽井沢に移り住む
今日はこの店 おすすめメニューや魅力の品
軽井沢新聞社

軽井沢で安心のリフォーム店をお探しの皆様へ
※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。
三井のリフォーム 5つのお約束
1.お客様のご要望をすべてお聞きします。
2.資格の無い監督には任せません。
3.追加工事はお客様のご確認いただいた後で。
4.価格以上の満足をご提供します。
5.今まで過ごされた思い出を大切にします。
リビングダイニング　寝室・和室・書斎　洗面・トイレ
キッチン・浴室　外観・エクステリア　水漏れ・雨漏り
あなた様のご予算に合わせてご提案させていただきます。
軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業
リフォーム一筋17年
都市に豊かさと潤いを 三井不動産グループ 三井のリフォーム 軽井沢店
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42〈営業時間〉9:00～18:00
見積り無料!! 悩んでいないで、まずはお電話ください！ (0120)278-321

リフォーム専門店の私たちにおまかせください!!
一級建築施工管理技士 店長 秋山 勇
リフォーム一筋17年 中島 祐司
2級建築士 花里 邦子
笑顔のリフォーム応援団 草間 こず江
全国第1位の社長表彰をいただきました。

WEBで検索! 三井のリフォーム軽井沢店 検索
ホームページが新しくなりました。
www.karuizawa-reform.com
メール karuizawa@mitsui-reform.com
三井のリフォーム軽井沢店 軽井沢高校 軽井沢警察署 国道18号線 長野新幹線 しなの鉄道 至軽井沢駅 至小諸 国道18号線軽井沢高校となり

ほたるの里 御厨（みくりや）の田んぼに アイガモ入ります。
御厨では、かまど炊きご飯の御膳をはじめ、信州ならではのお食事をご用意しております。
里山のかまど炊きご飯
軽井沢・ほたるの里 MIKURIYA 御厨
ご予約・宴会等、お気軽にご相談ください。
営 8:00~21:00(14:00~17:00は喫茶のみ) Tel:0267-41-6741
休 無休 〒389-0113 長野県北佐久郡軽井沢町発地 2127
www.mikuriya-kamado.com インターネットでもご紹介しています。
※御厨は「田舎っぺ倶楽部」の仲間です。
田舎っぺ倶楽部 INAKAPPE CLUB　Cocorade　音羽